



第3章

ユニバーサルデザインの事例

- I ユニバーサルデザインの考え方の普及
- II まちの中のユニバーサルデザイン
- III すべての人が使いやすいものづくり
- IV すべての人に配慮したサービス・情報の提供
- V 誰もが暮らしやすい社会づくり

第2章項目の色分けについて

 は、ユニバーサルデザイン室及びユニバーサルデザイン企画監付が実施したユニバーサルデザイン推進事業の内容

 は、県の各部局等で実施した事業及び関連機関の事業の内容

I ユニバーサルデザインの考え方の普及

「ユニバーサルデザイン」はお年寄りや障害のある人のためだけではなく、すべての人のためにという考え方は、施設・設備・交通・製品などができるだけ最初から誰もが使いやすいデザインであれば、私たちの生活はもっと快適で安全に

なります。一人ひとりがそのことに気づき、理解して実践できるよう、ユニバーサルデザインの考え方を広めています。

POINT

- 行政・事業者・子どもなど対象別の様々な媒体による情報発信
- ユニバーサルデザインに関するすぐれたアイデアの募集と顕彰
- 大学・研究機関・NPO等との連携

アイデアの募集と顕彰

- 子どもから大人まで幅広い世代から募集するアイデアコンクール
- 子どもや中学生からの提案が多い



私は停めません!

- 車いす使用者がいつでも専用駐車場を利用できるよう、マナーアップのキャンペーンを実施
- 「私は停めません」宣言をし、シールを車に貼る



小・中学校への出前講座

- 総合的な学習の時間に職員を講師として派遣



平成15年度しずおかUD大賞 学校活動賞

- 伊豆市立修善寺南小学校
 - ユニバーサルデザインの視点で学校を周って見て「段差をなくす」「トイレをきれいに」等の課題を出す
 - スロープを作ったり、トイレの鏡をきれいにしたり、のれんをつけたりなど、誰にでも使いやすくした
- 富士宮市立富丘小学校
 - お年寄りや体の不自由な人の不便さを、車いすやアイマスクで疑似体験
 - みんなが暮らしやすい社会をつくるために「声かけ運動」など自分たちができることを実践



子ども向けウェブサイト

- ユニバーサルデザインを分かりやすく紹介するしずおかユニバーサルデザインのホームページ



事業者向け講座

- 印刷業、ホテル・旅館業など、産業別・分野別の講座を開催し事業化を支援



企業や団体にアドバイザーを派遣

- パッケージをユニバーサルデザイン仕様に変更
- ホテル・旅館の接客対応、見やすいホームページ、製品開発等、様々な分野へアドバイザーを派遣



before

After

ニュースレターの発行

- 県内の先進事例を紹介し、市町村に情報提供



新規採用職員研修での疑似体験

- 体験を通してユニバーサルデザインを学ぶ



海外への情報発信

- フランスの地方自治体幹部職員への講演
- 韓国、北米、台湾での講演、国際会議での講演



海外からの視察の受け入れ

- 小笠山総合運動公園を視察する国立台湾デザインセンターの皆さん
- 韓国、英国、北米、台湾からの視察受け入れ



韓国テレビ局の取材

- 本県のユニバーサルデザイン施策の進捗状況取材(県工業技術研究所での取材の様子)



ホームページの多言語化

- 韓国語サイトの開設に伴い韓国からの新聞取材やインターンシップ学生の受け入れ要請が増加



交流フェアで最新情報を発信

- 「食のユニバーサルデザイン」をテーマにユニバーサルデザインのいす、食器、食材を使ったテーブルコーディネート



II まちの中のユニバーサルデザイン

まちづくりなどの基盤整備へのユニバーサルデザインの導入に加えて、既存の宿泊施設、商店、道路等でも様々な工夫や改善を進めています。施設や交通システムの整備とともに、足りない部分は相手を思いやる、手助けするといった“心の

ユニバーサルデザイン”を実践することが、暮らしやすいまちづくりにはとても大切です。

POINT

- 施設・建物・交通システムのユニバーサルデザイン化
- “心のユニバーサルデザイン”の実践
- 着実に進む公共施設・民間施設の整備

多様な移動手段が一目で分かる (静岡市)

- エレベーター・階段・スロープが一箇所に設置されているため、昇り降りの手段を一目で把握できる

歩道整備の実証実験

- 様々な実物大模型を作り、視覚に障害がある人、車いす・ベビーカー使用者が実際に歩いて検診

高さが選べるベンチ (沼津駅北口広場)



シケインの整備(焼津市)

- 道路をジグザグにしたり蛇行させたりして車を減速させる



道路と広場が一体になった 「路ひろば」(島田市)

- 御影石、燻しレンガ、木製デッキなどを組み合わせたくつろぎの空間を創出

渋滞解消のための迂回対策

- 右折レーンがないため渋滞が起きやすかった橋の出口を右折禁止とし、回転道路を設けることで渋滞を解消

レイズドベッド(吉田公園)

- 楽な姿勢で手入れができるようにレイズドベッド(植栽面の高さを上げた花壇)を配置



スロープで海岸へ (熱海サンビーチ)

- 車いすやベビーカー使用者が砂浜に出入りしやすいように、緩やかなスロープを設置

誰もが楽しめる公園 (浜名湖ガーデンパーク)

- 広く緩やかな通路



ベンチと一体化したわかりやすいサイン (浜名湖ガーデンパーク)



車いす対応席 (県武道館)

○可動式のいすを移動させ車いす席に



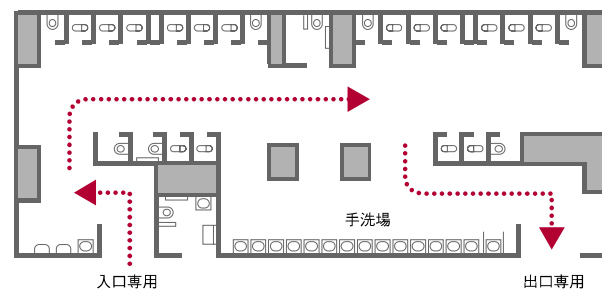
高さの違う洗面台 (浜名湖ガーデンパーク)

○子どもも使いやすい低い洗面台を設置



トイレの混雑の緩和 (小笠山総合運動公園)

○トイレを一方通行とし、混雑を緩和する工夫



ポケットパークの整備 (静岡市)

○中心市街地や住宅地等の空き地を活用し、憩いの場、子どもの遊び場として整備



ユニバーサルデザイン点検 (県立総合病院)

○様々な利用者から意見を聞き、改善につなげる



誰もが楽しめるプール (県富士水泳場)

○用途に応じて深さを変えられる可動床になっている
○可動式の装置を使って、好きなところからプールに入ることができる



上下に動かせるドライヤー

○上下に高さを変えて使いやすい位置に固定できる

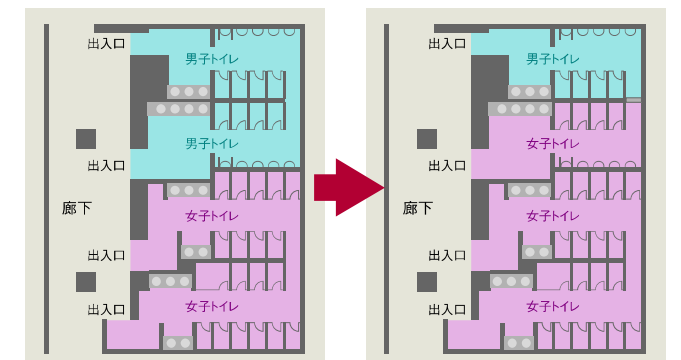


ベンチが設置されたエレベーター (県立静岡がんセンター)



男女のトイレの設置比率を変更 (グランシップ)

○女性客が多いイベント時に男性用トイレに簡易間仕切壁を設け、女性用トイレを増やす



ユニバーサルデザインに配慮した
宿泊施設

- 広さがあり段差のないトイレ、浴室入口
- 車いすで枕元へ近づける



国際アビリンピック時のホテルの
対応例(静岡市)

- バスルームの扉を外しシャワーカーテンを設置することで、車いす分の間口を確保



移動しやすく、買い物がしやすい
店(御殿場市)

- 広い通路、二段の手すり、緩やかな勾配のショッピングセンター



子どもが楽しく買い物できる工夫



買い物の介添えをする体制の整備
(静岡市)

- 入口のインターフォンで買い物の介添えを依頼できる店



県営住宅の障害のある人用の
住宅



- 段差を解消した玄関
- 車いすで利用しやすい台所
- 高さが変えられる台所

鉄道駅のユニバーサルデザイン化

- 鉄道駅ホームにエレベーターを設置

安全確保のためのホームドア



低床バス(ノンステップバス)

- 入口の段差がなく、高齢者や車いす・ベビーカー利用者も乗降しやすい

誰にも便利なICカード



Ⅲ すべての人が使いやすいものづくり

スーパーやホームセンター等でユニバーサルデザインに配慮した製品が目につくようになりました。高齢社会ではこうした製品の市場はますます拡大していくでしょう。電化製品や通信機器などの中には、技術が高度化し機能が多すぎてか

えって使いにくくなっている製品が見受けられますが、これからは「高機能で操作は簡単」な誰にでも使いやすいものづくりが求められます。

POINT

- ユニバーサルデザインに配慮した製品の開発促進
- 製品の情報提供・普及促進

県工業技術研究所「ユニバーサルデザインのためのモノ作りシステムの開発」

- 企業と共同研究で開発した「高齢者の起立動作に配慮した和室ダイニングセット」



アイデアコンクール入賞作品の試作化

- アイデアの製品化を進めるため、受賞作品を試作し、操作性等の実用性を検証



グッドデザインしずおか

- 県内の中小企業が生産する製品で戦略性、ユニバーサルデザイン、文化性等が優れたものを顕彰



2005グッドデザインしずおかユニバーサルデザイン賞

- アルトサックス用練習用消音器
- 演奏者が周囲に気兼ねなく練習でき、周囲の人にも配慮した製品

2006グッドデザインしずおかユニバーサルデザイン大賞

- 押しでも引いても開けられる公共トイレ用折れ戸
- 車いす使用者、高齢者、荷物で手がふさがっている人も開けやすい



誰にも使いやすいモノ展

- 県内外の事業所、NPO等の協力を得て、ユニバーサルデザインに配慮した製品を広く紹介



Ⅳ すべての人に配慮したサービス・情報の提供

行政窓口や商業施設の受付では、誰もが満足できるサービスを受けられるように、多様できめ細やかな対応を心掛けています。また、情報技術が進んだことで、知りたい情報をいつでもどこにいても得られるよう、様々な広報媒体を使った情

報発信が可能になってきました。多くの人に参加するイベントでは、誰もが会場をスムーズに移動し楽しめるなど、ハード・ソフト両面にユニバーサルデザインを取り入れることが成功の鍵になります。

POINT

- 満足度の高い窓口サービスの提供
- 分かりやすい案内表示・サインの整備
- 様々な広報媒体の利用と、情報のアクセスしやすさに配慮

筆談も有効

- 聴覚に障害のある人とのコミュニケーションには手話に加え筆談も有効

よろず相談 (県立静岡がんセンター)

- 様々な悩みを抱えた患者と家族のために、対面だけでなく電話、ファクシミリ、メールでも相談を受け付ける



コミュニケーション支援ボード

- 話し言葉を絵にしたコミュニケーション支援ボードを窓口等に設置



ベッドサイド端末 (県立静岡がんセンター)

- ベッドにしながら検査結果や食事のオーダー変更など様々な情報が得られる



イベント時のボランティアによる対応

- 誰もがイベントを楽しめるように、ボランティアによる介助サービスを実施(浜名湖花博)



ファミリートイレのわかりやすいサイン (県立総合病院)

- 遠くからでも分かりやすい表示の内容、文字の大きさ、色



地域で統一した観光地の案内表示 (熱海市)



外国人観光客のための4カ国語表記の看板

- わかりやすさや景観に配慮した観光案内看板
- 日本語のほか、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ポルトガル語で表記



見て触って楽しい触知案内地図（富士山こどもの国）



校内のピクトグラム（県立下田高等学校）



県民だより

- 点字や、カセットテープによる音の県民だよりを提供
- ホームページの読上げソフトにも対応



静岡おもいやりナビ（静岡市）

- 静岡市街地のバリアフリー情報や公共施設情報などを検索できる移動支援案内システム社会実験
- QRコード対応の携帯電話で、街中に設置されたタグプレートから情報にアクセスできる

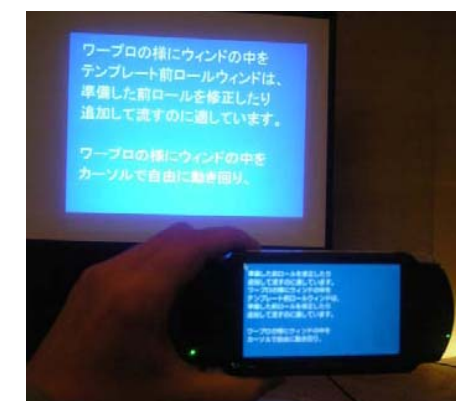


音声読上げ装置とSPコード

- 視覚に障害のある人や外国人に音声で情報を提供できるSPコードの活用を推進

手元で見られる要約筆記

- 無線機能付きゲーム機を使って、携帯性と機動性を両立した要約筆記（要約筆記サークル「さくらんぼ」）



V 誰もが暮らしやすい社会づくり

ユニバーサルデザインが目指す社会は、誰もが、仕事・家庭・地域・余暇のバランスのとれた生活を送ることができ、自己実現できる社会です。ロボットの開発や就業環境の整備は、障害のある人や高齢者・女性の雇用率の向上につながります。

また、文化・芸術活動や地域活動など、活躍の場や生きがいづくりへの取組も重要な要素です。

POINT

- 障害のある人・外国人などの社会参加の促進
- 老若・男女共同参画
- 働きやすい就業環境の整備
- 地域ボランティア・NPO・NGOの活動

いちごの高床栽培

- 高床で誰にとっても作業しやすい

ユニバーサル園芸

- 作業しやすい環境で障害のある人と共に働く



製品向上・販売促進プロジェクト

- 県作業所連合会「わ」が販売促進の拠点として商店街に「みんなのお店・わ」を開店

福祉分野における介護ロボットの試験

- 介護ロボットの導入は介助者の負担軽減や働きやすさにつながることを期待されている



ボランティア活動

- 地域ボランティア・NPO・NGO活動は生活の充実や生きがいづくりにつながる

ユニバーサル映画の上映

- 視覚や聴覚に障害のある人たちも映画を楽しむことができるよう、映画に日本語字幕や音声ガイドを付ける（平成20年度しずおかUD大賞推進活動の部大賞 シーンボイス・はままつ）

すこやか長寿祭スポーツ大会の開催

- 健康づくりのため様々なスポーツを楽しむ高齢者

外国人対象の防災訓練（磐田市）

- 外国人の自立支援と地域との交流を図るため様々な活動が行われている



しずおか演劇祭実験劇場

- 障害や舞台経験の有無・年齢を問わず、一人ひとりが役者として魅力的な姿を見せる

